

飯田市教育委員会 平成29年9月定例会会議録

- 1 会議開会の日時 平成29年9月12日（火） 午後3時
- 2 会議の場所 飯田市役所 A301・302会議室
- 3 出席者の氏名 教育長：代田昭久 教育長職務代理者：小林正佳
 委員：伊藤 昇 委員：小澤由美子
 委員：三浦弥生
 【事務局】
 教育次長：三浦伸一 社会教育担当参事：松下徹
 学校教育課長：北原康彦 学校教育専門幹：中井文彦
 生涯学習・スポーツ課長：北澤俊規 文化財担当課長：馬場保之
 市公民館副館長：（松下徹） 文化会館長：宮沢正隆
 中央図書館長：遠山尚久
 美術博物館副館長：飯島剛
 歴史研究所副所長：原俊文 学校教育課総務係長：滝沢拓洋
- 4 会議の顛末

△日程第1 開会

代田教育長が定例会の開会を宣言した。（午後3時）

△日程第2 会期の決定

本定例会の会期を本日1日に決定した。

△日程第3 会議録署名委員の指名

会議録署名委員に小澤由美子教育委員を指名した。

△日程第4 会議録の承認

8月定例会の会議録を承認した。

△日程第5 教育長報告事項

○代田昭久教育長

A4で2枚のつづりをお配りしましたので、今日は3点お話できればと思います。

まず、私自身の最近の雑感を含めてなんですけれども、飯田市のキャリア教育、本当に各部署で丁寧にも子どもたちの成長の場として行われているなということを経験しながらですね、教育委員会がどんなふうに関わっているのかということを経験しながらですね、まず共有したいなというふうに思うのですが。

飯田市の特徴としてはですね、iiiのところを書いてあるんですけど、私が飯田市に来て、本当にびっくりしたのは、普通の教育委員会ではですね、教育委員会という自治体というのは、各学校が職場を見つけて、コーディネートしてやりとりするっていうのがふつうだと思ってたんですが、その中で、教育委員会がいわゆる蝶番の橋渡し、コーディネート機能を担って、受け入れ先の事業者を見つけ、そしてそこに学校が提供し、生徒が職場体験の仕事内容や体験の意義を理解したうえで選択して行けるということをやっているということを経験してですね、教育委員会の負担はあるけれども、これは本当にすごい仕組みだなというふうに思っています。その中で、実際に課題の解決できる企業があつて、実は、三浦教育委員もいらつちゃってちょっと小恥ずかしい話なんですけれども、飯田女子短期大学のほうに、ちょっと訪問した際にですね、高松理事長のほう

から、介護、養護の人材を育てていけるような機会を作ってくれているのはありがたいけれども、実際にいきなり行ったら、あれは、ファンを作るというよりもネガティブな子を育てちゃんじゃないかということをかかなり言われましてですね、事前に短期大学としては、講義やその仕方をちゃんとしているので、事前準備をして職場体験に行かして欲しいというのが、昨年の要望というのか話が出てきたので、こんなところをですね、今年度は、介護の体験とかそういうところに、実習するところに関して、事前にやりますよということを告知したところに、飯田東中学校が手を挙げていただいて、講義や車いすの実習を短期大学でしていただいたということもあって、こういうふうな流れになるのも、教育委員会が蝶番になることによって、こういった充実した学びができるんだなというふうに感じています。実際にこの7、8、9月を中心に3日から5日間の職場体験をして、249の事業所が協力してやっているというのが状況です。

もう一つ、一昨日ですね、9月10日にですね、第6回お仕事キッズタウン、JC（青年会議所）が中心となっている催しものに行ってきましたが、ここでも、びっくりしました。天候に恵まれたということを書いてましたけれども、飯田市、下伊那郡もいますと言ってましたが、1、2、3年生を中心に1,028人の子どもたちが職業体験するわけですね、本当に美容師からタイルのドリル空けまで、ほんとに様々な企業が参加して子どもたちも本当に楽しそうでした。こういう機会をほんとに地育力で行われていることにびっくりしてですね、ここまで、委員長のほうからありましたけれども、私たちは東京の豊洲にあるキッズニア目指しているんだということで、キッズニアによく行ってですね、子どもたちがどうやったら喜ぶのかというのを研究してるって言って、まさにすごいなというふうに思いました。

高校生のほうもですね、情報共有をするとですね、昨年度から学びと信州創生のための新たな人材育成モデル事業ということで、飯田OIDE長姫高校でですね、地域の協力を得ながら人材育成をするということで、そのキックオフイベントに私が行ったということもあってですね、こういうことをやっている、また、飯田高校のほうからもですね、今年度宇宙教育をやっているの、東京理科大学のキャリア教育として講演をして欲しいというような話があってそれぞれの発達段階、成長段階において、地域や学校やそれぞれがキャリア教育に力を入れてるんだなというふうに改め感じているところであります。

④番のところはですね、それぞれが、一生懸命やっているがゆえにさらに次のステージということで、小中高のこの連続した系統的なものっていうのをもう少し俯瞰的にそれぞれが見ていかないともの足りないなという気がしました。実は、先ほど、教育委員会が249の事業所見ているという話なんです、ほとんどが医療、介護、福祉なんですね、8割くらいの職場がそうなってるわけです。ことし6月に行われたキャリア教育推進協議会でも、もっと、もっと製造業とかをアピールして欲しいというのがその場で出てましたんで、その場ででたときにですね、こんなにキッズタウンの中に製造業とかいろんな業種があるのだったら、小学生だけじゃなくて、中学生の受け入れもできませんかみたいなお願いができるんじゃないかなというのをその場ちょっと話をしていたところでもあるのですけれども、また逆に、小中学校でやっているところをもっと、小学校のお仕事キッズタウンでできるところもあるんだろうなというところで、もう少し俯瞰的に、それぞれの取り組みが連動していくといいなというふうに思いました。大きなベクトルとしては、飯田で働きたいと感じる若者を一人でも多くするという目標は同じなので、そんな中で戦略的な飯田キャリア教育をもう少しできるといいなというふうに思いました。9月10日お仕事キッズタウンが非常によかったの、お話をさせていただきました。

2番目、これは先ほど話題となった小澤委員の秋季研修会での話題にもなるかと思ったので、2番目として発表させていただきますが、これは、9月の校長会で話した内容です。配布資料を抜粋して、校長先生方がどんな意見が出たかを一応共有させていただきます。

ざっくり言うと、いま、ii番ですね、現状認識と課題と言うことで、特別支援学級に在籍する児童生徒数っていうのは、全国から比べて長野県は非常に高い、全国でも小学校で5位、中学校で1位非常に高い位置付けなんですけれども、飯田市はさらに高いという状況です。それをどう見るかっていうのは、解釈の仕方ですね、実際に多いのか、また、本当により個に応じた教育ができていくのかというような視点も十分にあるかと思えます。ただ、現状認識の数値として認識していただきたいということと、じゃあ、人数が多い中で、いま飯田市では、教育支援指導主事の先生は15人、支援員は46人ということで、この飯田市の規模のなかでのサポート体制としてはほかの自治体と比べて劣っていないという状況、さらには、見込みで言うと困難を抱える子どもたちは今後も増

えていく、こういう傾向は学校からあがっている。こういった課題の中で、今後子どもたちに寄り添った特別支援の教育っていうのをどうしたらよいかっていうことで、私のほうから、まず問題提起とですね、今後皆さんと一緒に考えていきたいと思いますということで、校長会で勉強会という方向で、問題提起をしました。

三つの方向性が、課題解決に向けては、あるじゃないかということで、ここでちょっと戻っていただくんですね、私たちが非常に気になっているというか、認定して、特別支援の子どもたちを、特に自情障の学級では、言葉は語弊があるかもしれませんが、取り出して指導すると、特別支援教室がオアシスとなっていてそこにずっといるような状況となっていて、自情障学級の本来の目的というのは、そこで、自立活動ができるような形で、そのスキルを養って通常学級へ戻っていくように戻していくという理解というものがともすると、クラス数が多いのと人数が多いのとで、忘れてしまっている可能性があるんじゃないかというのが、まず一点です。そのためにはですね、理解、先生たちや保護者の理解もそうなんだけれども、同じクラスメイトの児童生徒への支え合いという環境を作っていく必要があるんじゃないかということをお話をさせていただきました。

2番目では、じゃあ、学校全体、取り出してという指導をすることでいうと、教育支援指導主事の先生や支援員の先生と連携して、もっと学校全体で効果的な体制をつくる必要性がもっともつあるんじゃないかと言う点。

3番目としては、これからインクルーシブ教育という視点を持ったときに学校の中で、現在、特別支援コーディネーターっていう人がいるわけなんですけれども、それをさらにスキルアップを図ったりとか、学校内での推進力をもつような、現場でのリーダー、人材を育成していく必要があるのではないかと、こんなことをですね、私の問題意識として3つ提示をさせていただきました。

実際には約10分のグループディスカッション、15分の意見発表ということで、出てきたものです。意見交換されたシートを一部抜粋しているのですが、今後、もう少し正確にですね、分析をしていきたいとは思いますが、ざっくり私のほうでまとめた中で言うと、今、問題提起にあった原級へ戻っていくこういったスキルや認識は確かにもう一度確認する必要があるだろうということと、現実の問題として、学級内では個別支援になっている。自立活動のものはできていないという意見は確かに多くありました。その一方で、やはり現実的に先生の力量を高めるとか、組織的に対応する必要があるんだけど、なかなか難しいと、市教委への要望にもつながってくるわけなんですけど、こういった人材育成が考え方っていうものを市教委のほうともしっかりやっていきたい、やって欲しいという要望がありました。

また、少し視点が違うんですが、保護者の理解が不十分であったりとか、現状、逆に言うと知識があるがゆえに、要求、要望が高いというような状況もあって、学校がおかれている状況もこういうところで、共有できたかなというふうに思っています。

さらに、就学等への接続の問題意識ということで、これは、さきほど我々が磐田市へ行ったときにですね、最後の自立のところ、就職のところまで見据えて活動しているという意味でいくと、奇しくも中学校の現場からはですね、高校進学への道しかないなど、将来的な選択肢が限られていると、就職先をジョブカフェなどで広げられるとよいというような意見も寄せられました。

ですので、こんな話し合いを校長会でしたということをおまづ共有させていただいて、これは、単発ではなくてですね、大きな問題として、いま、今年度の大きな目標である特別支援教育の子どもたちのフォローということをおまづここを足掛かりにですね、皆で考えていきたいというふうに思っていますので、よろしくお願ひいたします。

3番目、議会開会しています。第3回定例会ということで、明日から一般質問ということで、この1週間は質問の聞き取り、また、答弁の作成ということで、事務局のほうとしては忙しかったんですが、裏面見ただくとですね、18人の質問のうち、8人から質問があり、それぞれの分野で本当に貴重な質問、意見をいただいているなというふうに思います。回答していく中で、告知していただくということもあるので、そういった意味では、教育委員会として質問していただけるというのは大変うれしいなというふうに思います。その中で、ただ、我々の非常に痛いところをついてきたっていうかですね、なかなか答弁に困るなっていう問題もいくつかあります。そのうちのひとつがですね、2番の竹村議員のですね、公共施設マネジメント基本方針における小中学校の建物維持の考え方、ようは老朽化が激しい中で、どういうふうに飯田市は学校を改修していくのかということについては、少し踏み込んだ質問になってくるのかなというふうに思っています。こんなところは、ずっと課題として挙げられているのですね、我々も検討しますというところから、一歩踏み込んだ

対応を考えなくてはいけないというところになっていくかなと思っています。まだ、議会前なので、具体的な質問とどうなるかわからないですが、こんなところで、ぜひ、議会の内容にもご注目をいただいて、来月は報告し、また、共有できるところは一緒に問題解決あたっていただきたいというふうに思います。私のほうからは以上です。ご意見、ご質問をお願いします。

○代田昭久教育長

はい。三浦教育委員をお願いします。

◇三浦弥生教育委員

先ほど、キャリア教育ということで、飯田女子短期大学の介護のほうで中学校の生徒さんに関わるようなコーディネートをいただいたということでお話がありました。自分の職場の話になりますけれど、先だって大学のほうの全教員がそろった会議の席で学長のほうからこの話がちょうど出まして、介護に対するそういったなかなか良いイメージを持ってもらえないというような職種ではありますけれども、そういった介護というものに対して、若い人たちに夢を与えるそんな手伝いを我々はできんじゃないかなというようなそういった学長の挨拶もありました。短期大学の教職員という立場からですと、地域にご貢献できるそういう機会を与えていただいたことに感謝いたしますし、教育委員というそういった立場で発言をさせていただければ、こういった短期大学という地域の資源をそういった子どもたちのキャリア教育というところにかかしていくということは、本当に必要なことなんだなということを教育長の話を含めて感じたところです。以上です。

○代田昭久教育長

はい。学長のほうからそんな話があったというと、私もちょっとうれしいです。

◇三浦弥生教育委員

ありがとうございました。

○代田昭久教育長

ほかにはいかがでしょうか。

◇小澤由美子教育委員

発達特性のある子どもたちへの対応についてなんですが、教育長さんのスキルを学んで通常学級へ戻っていくという発言に対してなんですが、それには、いま、飯田市の学校現場でやっている三観点ですよ、それに沿った知覚支援がその子どもたちには必要で、まずそれが基本で、何をやっているのか、どうことをやっているのかというのがとてもわかりやすい、何て言ったらいいのか、すごく必要だなと感じました。戻っていくためには、スキルをつけて戻るんですけども、それなりの環境も整わないと戻せないと思います。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。

◇小澤由美子教育委員

すみません。

○代田昭久教育長

私もなかなかうまく伝わらないのは、その障がい者の問題っていうのは、こっち側にあるっていう感覚というのは、我々がそういったことをやれば受け入れられるということだと思うので、まさに、三観点は授業のわかりやすさだけではなくて、そういった発達特性を持った子どもにとっても良いついていう視点を伝えていく必要があるなと思います。

◇小澤由美子教育委員

そうですね。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。
よろしいでしょうか。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。また、今月もよろしく願います。

△日程第6 議案審議

○代田昭久教育長

それでは、日程第6議案審議に移りたいと思います。
議案第65号学校体育施設開放運営委員の委嘱について願います。

○代田昭久教育長

北澤生涯学習・スポーツ課長、願います。

◎北澤俊樹生涯学習・スポーツ課長

はい、それではページをお開きいただき、議案第65号学校体育施設開放運営委員の委嘱について、飯田市立学校体育施設開放に関する規則第4条の規定により、下記の者を学校体育施設開放運営委員に委嘱する。平成29年9月12日提出ということで、伊賀良小学校体育施設開放運営委員として、宮毛伸治氏、住所は北方3369番地3、公募、新任ということで願います。提案理由といたしましては、伊賀良小学校体育施設開放運営委員については、現在8人がおりました、定員は10人というところで、任期途中ではありますが、新たに公募で募集された方ございまして、任期については、平成29年10月1日から平成31年3月31日までとするということで、委員が任期中に交代した場合は、後任の者が残期間を担任するものとして、今回の委嘱は、伊賀良小学校体育施設開放運営委員会において、委員の公募追加による委嘱に係るものであるということでありまして、よろしくご審議の上、委嘱のほうをよろしく願いたいと思います。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。議案第65号についての説明がありましたが、何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。

(「結構です。」と言う者あり。)

○代田昭久教育長

ないようですので、それでは、議案第65号学校体育施設開放運営委員の委嘱については、ご承認ということで、よろしく願います。

それでは、引き続きまして、議案第66号平成29年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について願います。

○代田昭久教育長

北原学校教育課長、願います。

◎北原康彦学校教育課長

はい、議案第66号を願います。

平成29年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定についてございまして、認定対象者は、別紙認定案のとおりでございます。就学援助費支給対象者として、認定したいとするものでありまして、それぞれ記載のとおり、認定いただきますようよろしく願います。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。議案第 66 号について、別紙のとおりということですが、認定ということでもよろしいでしょうか。

(「はい。」という者あり。)

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。それでは、議案第 67 号教育功労表彰者の決定についてをお願いします。

○代田昭久教育長

北澤生涯学習・スポーツ課長、お願いします。

◎北澤俊樹生涯学習・スポーツ課長

はい、それでは、ページをおめくりいただきまして、議案第 67 号教育功労表彰者の決定についてということで、今回につきましては、中央図書館のほうから推薦があがってきましたので、これをお願いしたいと思います。こちらにつきましては、飯田市教育功労者表彰規程第 3 条の規定により、下記の者を教育功労表彰者に決定する。平成 29 年 9 月 12 日提出ということで、規程別表 1 に基づく教育功労者ということで、松島タセ子氏、住所記載のとおりで、功労内容につきましては、図書館運営及びサービス向上に向けてということで、理由につきましては、飯田市図書館協議会委員として 14 年にわたって勤めていただいたということで、該当するということで、内容についてはこちらに記載のとおりです。提案理由は重ねてになりますが、教育功労表彰の候補者として、上記の者が中央図書館から推薦があったので、飯田市教育功労者表彰規程第 3 条の規定により、教育功労表彰者に決定いたしたく提案するものです。以上、ご審議のほうをよろしくお願いいたします。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。いま、議案第 67 号についての提案がありましたけれども、何かご質問等ありますでしょうか。

はい、なければ、議案第 67 号教育功労表彰者の決定については、ご承認ということでよろしいでしょうか。

(「はい。」という者あり。)

○代田昭久教育長

ありがとうございます。それでは、日程第 6 終了しました。

△日程第 7 協議事項

○代田昭久教育長

続きまして、日程第 7 協議事項。本日の協議事項はございません。

△日程第 8 陳情審議

○代田昭久教育長

日程の第 8 陳情審議。本日の陳情審議は、ありません。

△日程第 9 その他

○代田昭久教育長

日程第 9 その他、(1) 教育委員報告事項。教育委員の皆さんから報告事項があればお願いいたします。

○代田昭久教育長

三浦教育委員お願いします。

◇三浦弥生教育委員

それでは、お願いします。新任教育委員の研修会に行っていました。8月23日、長野市のほうに行っております。信州大学の教職支援センターの荒井英治郎先生の講演ということで、いろいろ聞いてまいりました。新任の研修ということでして、教育委員必携いただいておりますけれども、そちらのほうに書かれているようなところもしっかり押さえるように研修を受けさせていただいております。

制度の特性、教育委員として押さえておくところとしましては、市長が任命した教育長さんのチェックを行わせていただくというようなそういった役割があるんだよというところと、あと、そういったものを合議制と言う言葉でした。住民の多様な層からの選任ということで選ばれている人たちがそういった視点で、見ていくレイマンコントロールという言葉。昔、何かでお聞きしたこともありましたが、そういったところできちんと見ると。そういったところのメリットを持つなかで、委員に対する批判という部分というものも聞いてまいりました。やはり、しっかりした知識といえますか、考えを持っていないと、ただただ、事務局の案を追認するという形だけのものになりがちだと、そういったところが教育委員として一つの課題があるんだというところもお話をさせていただいております、そんな中で教育委員の皆さんたちはということで、早速、それぞれの教育委員会での問題点と課題、どうしたらいいのか言いなさいということで、何人か発言をさせられまして、全員が、全員違うことを言ったわけです。というわけで、意見が異なる人たちが集まっているということの認識をきちんと持って、経験でものごとを考えてしまっているといったところも一つ自分で認識してくださいと、そして、いま、学校教育を考えるなかで、自分のときとは違う世代間ギャップというものがあるということ認識してくださいという話もありました。ですので、どうということかと自分で考えたときには、本当に自分の経験と自分のときはこうだった、自分の経験からはこうなんだということではなくて、実際には、どういったことが問題視されているのかとか、きちんとアンテナを高くして情報収集をしていないと、いくら自分の経験から意見を言われても、それはただ私の意見であって、委員としてきちんと意見を言っていることにならないんだなということを感じてきました。そんなことで、きちんと情報を得たうえで、発言していきたいと、常日頃市民の皆さんたちが、教育に関してどういうふうに思っているかというところも、きちんとアンテナを高くして、そういったところもちゃんと反映させられる意見を委員として言えるようになりたいと、そんなところを強く思いました。

もう一点、勉強してきたことは、他の自治体がこうだから、じゃあうちもこれをやろう、これは一番やっちゃだめということもお聞きしてきました。いろいろなところを視察に行かさせていただいたり、勉強させていただいたりしております。ほかの自治体のほう、まねをするのではなくて、参考にして飯田市の教育だったらこういうふうにあるべきなんだっていうきちんと視点を持って、ものごとを考えていきたいと、新任の研修に行かせていただいて、そんなところを学んできました。以上です。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。ほかにはありますでしょうか。

小林教育長職務代理者お願いいたします。

◇小林正佳教育長職務代理者

これは、8月30日に長野県教育委員会の「学びの改革地域懇談会」がありまして、鼎文化センターの会合に出してきました。そして、それとも関係するんですけども、9月8日に教育七団体の「教育行政懇談会」というのがありまして、県に飯田下伊那としてどんなことを陳情したらいいかということについて協議をしました。その中で私ども教育委員として考えておかなきゃいけないことなのですが、児童生徒数、中学生の卒業生が減るなかで高校が今のままの形では存続できないという状況が出てきています。そういう中で、中山間地存立校というような阿智高校、阿南高校、松川高校をこれからどのようにしていったらいいかということが問われているということなんです。

飯田市の中学生までの子どもたちを扱う私とすると、その後をどうしたらよいかそんなところを飯田市の教育委員としての見識を持たなければいけない、こんなことを思ったことが一点目です。

二点目なのですが、長野県教育委員会への陳情の中で、私から強く要望させていただきたいなど

思ったのは、「飯田下伊那に多部制単位制高校の分教室をつくって欲しい」ということなんです。その「学びの改革地域懇談会」のなかでも、高校教育課の課長さんも多部制単位制高校は必要なんだ、大事なんだと言われていました。特に不登校で学校に行けなかった子どもたち、中間教室で過ごした子どもたちのために、多部制単位制高校をつくって、昼間の部、午後の部、夜間の部を自分で選択して、行って勉強することによって、単位がとれて、卒業できるといった制度なんです。飯田下伊那の子たちは通えないですよ。南信には、箕輪に箕輪進修高校があるんですが。それで、「分教室を」ということで、「提言のまとめ」の中に入れてくれてあるんです。「分教室が飯田下伊那に必要だ」と、だけど、「検討を続けていく」と書いてあるだけで、「検討する」とは書いてない。ですので、なんとか検討してもらえるようにしなくてはいけないなと思います。特に、不登校で悩んでいた子どもたちの受け入れ先として、多部制単位制高校は非常にきめ細やかな指導をしてくれるので、なんとかつくるようにしたいなと思います。今は、そこへは遠くて通えないから、やむを得ず飯田養護学校の高等部に行っている子が何人かいるんですね、そうすると飯田養護学校の高等部がいっぱいになっちゃって、校舎が狭くなっちゃって困っている状態があるんで、そういうことを解決するためにもそういうことを要望していきたいなと思います。いずれにしてもこれから高校をどうしていったらよいか、義務教育の方を担当をしている私たちですが、考えていく必要があると思います。今後、そんなことを勉強していかなくてはいけないなと思いました。以上です。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。ほかにありますでしょうか。
伊藤教育委員お願いします。

◇伊藤昇教育委員

教育課程研究協議会で皆さん、各科目行かれて、私も旭ヶ丘中学校の美術に行ってきました。その内容のことはともかくといたしまして、その学校教育専門幹からいただいた挨拶中でですね、本年3月に次期学習指導要領が告示されたと、ホームページで見ればわかることなんですけれども、英語に関しては、ちょっとこの場ででたんですけれども、ちょっとその辺の専門家レベルでの、私たちにわかるような話をさせていただいて、それが各教科で私たちが行ったときに、そういう指針なりガイドラインがあるとわかりやすいんで、誰でもわかる学び合いとそういった話もでているんで、その辺も少し教えていただいたほうがいいかなと思ひまして、そういうことです。

○代田昭久教育長

はい。事務局のほうはいかがでしょう。

◇小林正佳教育長職務代理者

事務局にお願いするというよりか、そのあたりをね、勉強する機会を私たち教育委員として作っていくことが大事だと思います。そのときに事務局ほうから資料を提供してもらってことですね。

◇伊藤昇教育委員

私たちが読んでわかることかもしれないんで、やっぱり、そうやってレクチャーしてもらったほうがわかりやすいかなと思いました。

○代田昭久教育長

はい、われわれも勉強しようということをお願いします。
それでは、よろしいでしょうか。

○代田昭久教育長

それでは、続きまして、日程第9その他(2)教育次長及び社会教育担当参事報告事項をお願いします。

◎三浦伸一教育次長

私はございません。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。

それでは、(3)学校教育課報告事項をお願いします。

◎北原康彦学校教育課長

特にございません。

○代田昭久教育長

(4)生涯学習・スポーツ課関係報告事項をお願いします。

◎北澤俊規生涯学習・スポーツ課長

特にございません。

○代田昭久教育長

はい、馬場文化財担当課長をお願いします。

◎馬場保之文化財担当課長

はい、本日資料ありませんが、文化財担当のほうから報告をさせていただきます。

恒川官衙遺跡現地見学会を9月16日(土)午前10時から正午まで、場所はJR飯田線元善光寺駅東側になりますけれども、少雨決行で開催いたします。

駐車場につきましては、元善光寺駅から史跡広場にお止めていただいております。よろしくお願いいたします。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。遺跡の見学会ということでお願いします。ほかにありますでしょうか。はい、それでは、続きまして、(5)公民館関係報告事項をお願いします。

◎松下徹社会教育担当参事兼市公民館副館長

特にございません。

○代田昭久教育長

はい、(6)文化会館関係報告事項をお願いいたします。

○代田昭久教育長

はい、宮沢文化会館長をお願いします。

◎宮沢正隆文化会館長

それでは、資料No. 1をごらんください。

人形劇のまちづくりの推進に関する取り組みについて9月以降、当面の予定等を記載させていただいております。主なことだけ説明させていただきます。

1の(2)の創造支援事業であります。ずっと続けてまいりました巨大人形さんしょうおにつきましては、一応一つの締めくくりということで、10月7日、8日にかざこし子どものもり公園でデモンストレーション及びワークショップを行う予定でございます。

それから川本喜八郎人形美術館の運営の関係でございますが、本年の3月に10周年を迎えたということで、今年はいろいろな催しを行っておりまして、9月23日からは懐かしのテレビ人形劇展を行いまして、初日に友永詔三さんの特別解説等がある予定でございます。それから、9月30日には、川本喜八郎作の人形アニメーション「蓮如とその母」を見る機会ということで、こちらのほうは、同和的な内容も含まれておりますので、お時間がありましたら、ぜひご鑑賞いただければと思っております。

それから、3番の伝統人形劇の関係でございますが、9月2日に終了しましたが、伝統人形劇を担っております4つの中学校が連携いたしまして、講師から指導を得ながら交流するという場で、ことしは阿南第一中学校の当番でやっていただいております。

それから、4番の学校等で行われる人形劇活動への支援ということで、文化庁の補助事業をつかいて、充実した支援を行っておるわけですが、来年に向けた募集を始めているところでございます。

次のページを見てください。フェスタの概要でございます。まだ、最終数字ではないんですけれども、観客数、ワッペンともほぼ前年度並み、観客数は若干上回っております、ワッペンは若干下回ったという状況でございます。来年に向けてさらに充実を図っていきたくて考えております。

それから、(2)のところですが、台湾の雲林国際人形劇フェスティバルと交流を行っております、ことしは、三穂の伊豆木人形クラブの皆さん6人、竜峡中学生であります、今田人形座の支援を受けながら、行っていただく予定でいま準備をしておるところでございます。

それから、6番のAVIAMA（人形劇の友・友好都市国際協会）の総会が、今年はフランスのシャルルヴィル・メジエール市で行われるということで、来年飯田で総会を行うということもありまして、市長が出席いたしまして、来年の準備状況の説明、それから来年に向けた視察等を行ってくるということで、私と人形劇系の茅野が随行いたしまして行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。いまの報告事項に、何かご質問等ありますでしょうか。

（「なし。」と言う者あり。）

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。それでは、(7)図書館関係報告事項をお願いします。

○代田昭久教育長

はい、遠山中央図書館長お願いいたします。

◎遠山尚久中央図書館長

それでは、資料No. 2をご覧くださいと思います。よむとす事業報告及び予定でございます。

まず、予定ということで、第17回になります伊那谷地名講座を9月23日午前9時半から現地を回るということで行います。委員の皆様のお手元にこの黄色いチラシが置いてあると思いますので、また、ご覧いただければと思いますが、現地を見て回るということで、定員30人ですが、今朝現在もう29人がお集まりになったということでありがたい話ですが、定員に達するというで行いますので、よろしくお願いいたします。

それから、真ん中の四角の中でございますが、平成29年度の図書館の特別資料展ということで、毎年秋に行っておりますが、ことしのテーマとしては、市制80周年記念事業としまして、飯田線の辰野から豊橋までが全通しまして80周年を迎えたということで、飯田線にスポットを当てて展示を行います。10月28日から11月5日まで、これは、2階の研究室で展示します。また、1階の階段横は、11月23日まで約1か月間展示を行っております。また、10月28日の土曜日は飯田市の市制施行80周年ということで、記念式典があります。その日から図書館のほうでも展示をさせていただきますので、お願いいたします。

それから、一番下のところにお知らせということで書かせていただきましたが、中央図書館のほう、開館時間が変更ということで、内容としましては、長姫神社の秋の祭典がありまして、図書館前の道路が通行止めになります。9月16日、今週の土曜日です。開館時間は午前10時、いつもと同じ、通常通りとなりますが、午後6時までの開館を1時間繰り上げて午後5時までさせていただきますので、ご承知置きいただければと思います。以上でございます。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございます。何かご質問等ありますでしょうか。

(「なし。」という者あり。)

○代田昭久教育長

はい、それでは、(8)美術博物館関係報告事項をお願いします。飯島美術博物館副館長をお願いします。

◎飯島剛美術博物館副館長

それでは、資料No. 3をご覧いただきたいと思います。8月の定例会でちょっと口頭で触れさせていただきましたが、第12回美博まつりの総括についてご報告させていただきます。

概要ですけれども、ご覧いただいたとおりですが、入場者数1,729人、目標値の86.5%と書いてございますが、目標値は2,000人ということございまして、一番最後の全体的な感想とここで触れておりますけれども、参加人数は、昨年よりも減りましたが、落ち着いた雰囲気ではちょうどよい人数だったのではないかとということで総括しています。

2の反省のところはかいつまんで申し上げます。

1の問題改善への取り組み状況のなかでは、駐車場がいつも大変混みまして、いろいろと苦勞をしていたんですけれども、3館合同クイズラリーというようなことで、図書館、それから動物園、美博と、うまくプッチー号でまわりながらご案内したところ、割合スムーズに使っていただいたのかなということで、交通手段の選択肢を増やすことができたので、来年度もまたぜひ取り組んでいきたいということでございます。

一つとびまして、非常時対応でございますが、最近、特に雨が大変な状況が出てきておりますので、大雨警報の発表を機に中止というような形での対応方針を定めたということでございます。実際にはなかったのよかったですと思います。

開催時期は、来年はいろいろなイベントが重なる様子ですので、どうするか、今後見通していかなければいけないと思っておりますけれども、来年だけでなく、今後におきましても参加者の傾向を見据えながら、また、時期を探っていきたいということでございます。

(2)の多様な学習交流活動の推進というところでは、子どもたちに、博物館に親しんでもらおうということが、美博まつりの基本的な開催のねらいでございますから、その通りのねらいで開催できたかなと総括しております。

(3)の地育力につきましては、人材発掘、育成ということで、いつもボランティアをお願いしております。募集をして今年は63人でしたが、かなりリピーターが増えてきておりますので、今後はスタッフとしてももう少し一緒にやっていけるように取り組んでいくことで人材の育成につながっていくのではないかとというふうに考えております。あとは、また、ご覧いただければということでございます。

それから、お手元にいくつかチラシ、それから冊子をお配りしておりますけれども、一つだけご案内します。春草の常設展示のことで、すでに教育委員の皆さんには、9月30日のオープニングセレモニーへのご参加ということでご案内を差し上げておりますが、午前9時からでございますので、ぜひ、お越しいただきたいと思います。また、本日、オープニングセレモニーと以前教育委員会で購入をご決定いただきました三作品について、記者発表をさせていただいておりますので、また、その部分での盛り上がりを期待しておりますところでございます。あとは、ご覧いただきたいと思っております。以上でございます。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。いまの報告事項に対しまして、何かご質問等ありますでしょうか。はい、それでは、(9)歴史研究所関係報告事項をお願いします。原歴史研究所副所長をお願いします。

◎原俊文歴史研究所副所長

それでは、会議資料No. 4、最後のページの資料をご覧いただきたいと思います。

歴史研究所の移転作業の状況を報告させていただきます。8月末に改修工事は完成しております。

また、書架の移設につきましては8月下旬に行いまして、9月の2日、3日土日の二日間で業者による机等の什器、また資料や書籍等の段ボール箱の運搬をしていただいております。現在、9月19日までの期間を歴史研究所の臨時休所日とさせていただいております。移転後の収納、整理を行っているところでございます。9月20日から移転先での利用再開をしていきたいということで進めております。先週の一週間で箱に詰めたものの9割方はすべて出していくことができました。今週はそういったものの確認を中心に作業を行いまして、20日に間に合わせたいと考えております。以上、よろしくお願いたします。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。何か歴史研究所報告事項関係でご質問ありますでしょうか。

◎小林正佳教育長職務代理者

全体を通じてということで、よろしいでしょうか。

○代田昭久教育長

はい、どうぞ。

◇小林正佳教育長職務代理者

2点お願いたします。一点目は聞き落して申し訳ございません。恒川官衙遺跡でしたか、見学会があるというお話をいただいたんですが、日付と時間をもう一度お聞きしたいのです。

◎馬場保之文化財担当課長

9月16日の土曜日、午前10時から正午までということで開催いたします。内容につきましては、現在、正倉院の区画の調査をしておりますがその部分で確認された、踏み固められた堅い面、それから炭化米、瓦の出土状況、あと江戸時代に起こった「未満水」の痕跡、そういったところをご報告させていただきます。以上です。

◇小林正佳教育長職務代理者

はい、ありがとうございました。もう一点ですが、美術博物館の副館長さんをお願いであります。春草の記念室の常設展示のオープニングセレモニーの招待状をいただきました。参加したかったんですが、当日中学校の文化祭が入っております、重なっちゃっております、誠に申し訳ございませんが、お許してください。以上です。

○代田昭久教育長

ほかにございませんでしょうか。

◇三浦弥生教育委員

はい、きょう、県の主幹指導主事に帯同させていただいておりますけれども、山本小学校、クラスを回ったときに、美術博物館の菱田春草のカレンダーですか、掲示してあるそんなクラスがありまして、いろいろなところいろいろなカレンダーが貼ってあるんですが、菱田春草のカレンダーあるっていうのが、ちょっと飯田市としていいなと思って見てまいりました。そんな感想を、失礼しました。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。ほかにありますでしょうか。

はい、宮沢文化会館長お願いします。

◎宮沢正隆文化会館長

はい、すみません。さっき、ちょっと説明を漏らしてしまいました。文化会館のほうから、水色の表裏のチラシを配らせていただいたんですが、前にもきれいなものを配ったんですが、来週の月曜日、祝日に飯田信用金庫プレゼンツの萩本晴彦ホームタウンコンサートが行われます。

こちらは、ビオラの四重奏とバンドネオンとの組み合わせということで、非常に珍しい音楽が聞けると思います。ビオラの四重奏につきましては、このメンバーで国内3か所でコンサートを行うようでありますけれども、そこにバンドネオンが入るパターンは、国内では飯田市だけしかやっていないということでありまして、まだチケットの良いところが残っておりますので、ぜひ、ご鑑賞いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○代田昭久教育長

はい、ありがとうございました。

(10) 今後の日程について

◎滝沢拓洋学校教育課長補佐兼総務係長

資料の3ページに当面の日程を記載したので、ご確認いただきたい。

△日程第10 閉会

代田昭久教育長が閉会を宣言した。(午後3時54分)